一般財団法人　戸田みらい基金　（第4回建設に関する教育振興に係る助成事業）

＜活動報告書＞

フリガナ		ダイ１５カイコンクリートコウシエンジッコウイインカイ
①団体名・学校名		第15回コンクリート甲子園実行委員会
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	兵庫県立豊岡総合高等学校　教諭
	TEL	
	E-mail	
③申請テーマ		土木材料（コンクリート材料）への興味･関心から、将来、土木分野への就業を促す。
④活動期間		4年　6月　～　4年　12月
⑤活動内容 を記載		コンクリート甲子園を通して、身近な建設部材であるコンクリートの特性や配合設計の基礎知識を身に付けさせる。また、コンクリートを作製することで、実際のコンクリート材料に触れ、材料の選択や配合設計、練り混ぜ等を自らが行い、土木技術者としてフレッシュコンクリートの基礎的な感覚を身に付けさせる。そして、本大会に参加することにより、参加生徒同士の交流を深めるとともに他校の工夫や発表等を聴き、幅広い考え方を身に付けさせることを目的としている。 本大会は、主催者の変更はあったものの、今年度で15回目の開催となる。本実行委員会は、第12回大会時に設立され、今年度も回を重ね継続する。 今年度の参加チームは、北は北海道、南は九州まで全国にわたり30チームのエントリーがあった。今年度より、事務局の変更や大会HPを立ち上げたことにより大会開催の周知が不安な部分もあったが、過去最多タイの出場数となった。今後さらに参加チームが増え、より盛大に開催されることが予想される。 毎年、競技内容を見直し、大会がマンネリ化しないように工夫を凝らしている。それに対して、参加チームも熱心に大会準備を行い、コンクリート技術においてもプレゼンテーション技術においても、年々スキルアップが見られ、各方面から注目を集めている。今回も、感染症拡大防止の観点から、プレゼンテーション部門は各チーム所在の学校からZoomによるリモート開催とした。 今後も、さらに発展が見込まれる大会であるため、健全な運営を行うことを考えると、貴基金のご協力が不可欠である。
⑥活動費用合計		1,329,978円
⑦別紙説明資料 の有無		ある　・　なし

＜活動状況写真＞

【写真1】



（状況説明）
今回も予選は感染症拡大防止の観点より、必要最小限の実行委員立ち会いのもと行われた。会場の香川県生コンクリート工業組合技術試験センターにおいて、実行委員による競技内容の確認を行い、「強度部門」のみの審査を厳正に行った。そして、エントリーされた30チームから、本選に進む１０チームを選出した。

【写真2】



（状況説明）
本選では、予選を通過した１０チームから香川県生コンクリート工業組合技術試験センターに供試体のみが送付され、審査委員等により、「デザイン部門」及び「強度部門」の審査が行われた。「デザイン部門」は、テーマに沿ってコンクリート供試体にペイントしたデザインにより競われ、岐阜県立可児工業高等学校の供試体が優勝となった。

【写真3】



（状況説明）
会場には、必要最小限の実行委員及び来賓が集まり、開会式・閉会式及び審査を進めた。「デザイン部門」審査の後、「強度部門」と並行して「プレゼンテーション部門」が行われた。「プレゼンテーション部門」は、イベント業者に映像･音声の技術委託をし、リモートにより行われた。「プレゼンテーション部門」では、参加生徒が供試体製作過程での創意・工夫した点をプレゼンテーションし、その後、審査委員からの質問に答えていった。３部門の合計得点で「総合部門」の順位を決定し、上位入賞チームを発表した。